

熱帯林造成活動（ベトナム）

JIFPROでは一般財団法人日本森林林業振興会（以下「振興会」という）が実施している国内外での森林の育成・整備事業のうち海外で実施する植林活動を支援しています。振興会では2010年から2015年までベトナムのハノイ近郊クオンニン省において「環境とコミュニティの森」プロジェクトにより400haの植林（樹種：アカシアマンガウム）を実施しました。その目的は、①植林木によるCO2吸収を通じた地球温暖化防止 ②森林面積の増加による地域環境の改善 ③植林活動に



台風被害跡地への植林（2015）



2017年の植林地（ラオカイ省）

よる雇用創出を通しての地域住民の生活向上 ④日本・ベトナム間の友好関係促進 となっています。

更に2016年からベトナム北部のラオカイ省において新たなプロジェクトを5年計画で実施しています。このプロジェクトは少数民族が居住する山間地域において、荒廃地復旧を対象として、早生樹種（センダンなど：住民用の木材資源の造成）及び郷土樹種（ヒマラヤカリンなど：環境保全林の造成）による植生回復を図るとともに、森林内で行う非木材林産物（八角等）の栽培を行うことにより地域住民の生計の向上を図り、森林の持続可能な森林経営の推進を図るものです。地域住民が主体となってこれまでに117haの植林が行われています。

JIFPRO研究成果のご紹介

森林立地学会誌第62巻1号に、JIFPROの技術顧問・研究員による総説論文「高吸水性高分子樹脂を添加した土壌の物理・化学・生物特性」（高橋 正通, 柴崎 一樹, 仲摩 栄一郎, 石塚 森吉, 太田 誠一）が掲載されました。これは紙おむつなどに使われる超吸水性高分子材（SAP）を育苗や植林する時に保水材として利用するもので、以下のような効果を期待しています。

- ① 苗木の根をSAP溶液に浸し、根の乾燥を防ぐもので、これにより植え付け時のストレスを緩和し、活着率の向上や初期の成長を促すことを期待するもの。
- ② SAPを土壌の保水材として利用し、育苗時の水管理に役立てようとするもので、苗畑や育苗ポットの用土にSAPを添加し、水やりの手間の軽減や苗木の根系発達を促そうとするもの。
- ③ 同じくSAPを土壌の保水材として利用し、乾燥地や半乾燥地における農林業の水管理に役立てようとするもので、植林に際して、SAPを土壌と混合することにより、苗木の活着率を高めたり、苗木の成長を促進したり、乾季における給水量や頻度を減らしたりするなどが期待されるもの。



水を加えたSAP

今後、植林現場でのSAP利用可能性について試験してまいります。詳しいことはJIFPROホームページの「森林再生テクニカルノート」を参照願います。 <https://jifpro.or.jp/tpps/category/conditions/conditions-cat03/>

海外林業研究会の事務局として

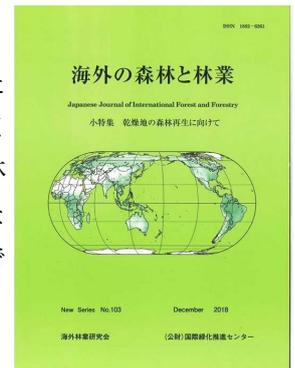
JIFPROは「海外林業研究会」（以下「研究会」という）の事務局として活動しています。

研究会は主に東南アジア、アフリカ、中南米の途上国においてJICA（国際協力機構）の行う技術協力プロジェクトや研究プロジェクトに参加した方々、あるいはそうした活動に興味のある方々などが会員となっており、その会員数は200名弱となっています。主な活動は年に一度の講演会（総会と同日開催）と年3回の会員誌「海外の森林と林業」の発行による情報の提供です。これまで年に一度しか会員が集まる機会がなく、更なる活動の実施が課題となっていました。そこで、今回、以下のような内容でオンラインによるセミナーの実施を企画しました。

- ・モンゴルの森林と林業－モンゴルの代表的な林業現場を訪問して－
- ・コーヒー発祥の森は消えてしまうのか？－エチオピア森林コーヒーの保全と付加価値化－

オンラインで実施することにより地方の方も含めたより多くの方が参加可能となります。（詳しいことはJIFPROホームページでご確認ください）

JIFPROとしても初めての試みですが、オンラインでの経験を積んでその他の活動にも役立てたいと考えているところです。なお、本セミナーへの参加は研究会の会員のみとなっており、本newsletterの読者の皆様にとって直接の関係はありませんが、JIFPROの活動の一つとしてご紹介いたしました。もし、研究会へ入会を希望する場合、kenkyu-kai@jifpro.or.jpまでご連絡ください。入会案内を送付いたします。年会費3,500円で年3回会員誌「海外の森林と林業」、その他の情報をお届けします。



JIFPROへのご支援へのお礼

JIFPROでは皆様からご支援をいただき様々な活動を行っています。その「支援」として以下の三通りがあります。

種別	支援対象	回数	金額
賛助会費	JIFPRO活動全般	継続	定額
一般寄付	JIFPRO活動全般	一回から／継続	任意
熱帯林造成寄付	熱帯林造成活動	一回から／継続	任意

令和元年度は皆様から下記の通りご支援をいただきました。篤くお礼申し上げますとともに皆様のご支援に応える活動を行うことをお約束いたします。

「賛助会費」：約61万円

「一般寄付」：約16万円

「熱帯林造成寄付」：約761万円



新型コロナウイルス感染症拡大の影響

2020年の年明けから新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなっていますが、読者の皆様には特段の影響がないことを願っています。この新型コロナですが現在もその拡大は止まることなくwithコロナとして日常生活に大きな影響を及ぼしています。JIFPROは海外での調査や活動をメインとしており、その影響は特に大きいものがあります。これまで職員は1人当たり年に2～3回程度、海外出張を行っていましたが、今年はまだ、一度も海外に出ることができていません。海外の現場を維持するためにメール等で協力者に連絡を行い、調査などを継続していますが、現場を確認できないとやはり不安です。当初予定していたいくつかの事業も中止となり、JIFPROの経営にも影響が出てきています。早く新型コロナへの対応策ができ、安全に海外への渡航ができるようになることを願っています。



JIFPRO newsletter Vol.3 令和2年8月15日発行

編集・発行 / 公益財団法人 国際緑化推進センター 〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル3階

電話：03-5689-3450 / FAX：03-5689-3360 / E-mail: jifpro@jifpro.or.jp / URL: <https://jifpro.or.jp>